

看護実践能力修得度評価(2023年度)

4年次 回答者数 65名/72名 (回答率:90.2%)

I. 教養教育で培った普遍的基礎的能力		選択肢		1		2		3	
1. 看護の対象者に愛と尊敬をもって接することができる。	人(%)	0	0.0	2	3.1	63	96.9		
2. 看護の対象者及び取り巻く人々と信頼関係を築くことができる。	人(%)	0	0.0	2	3.1	63	96.9		
3. 倫理観と責任感を持って物事に対応できる。	人(%)	0	0.0	3	4.6	62	95.4		
4. 物事を論理的に捉え分析できる。	人(%)	0	0.0	24	36.9	41	63.1		
5. 情報通信技術(ICT)を用いて、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、効果的に活用することができる。	人(%)	0	0.0	26	40.0	39	60.0		
II. 根拠に基づいた看護実践能力		選択肢		1		2		3	
1. 対象者及びその家族を包括的にアセスメントできる。	人(%)	0	0.0	19	29.2	46	70.8		
2. 対象者及びその家族の健康課題と生活における看護目標を提案できる。	人(%)	0	0.0	24	36.9	41	63.1		
3. 科学的知識やエビデンスに基づいた看護計画を立案できる。	人(%)	0	0.0	28	43.1	37	56.9		
4. 立案した看護計画に基づいて安全・安楽に配慮し看護を実践できる。	人(%)	0	0.0	13	20.0	52	80.0		
5. 実施した看護を客観的に評価できる。	人(%)	0	0.0	17	26.2	48	73.8		
III. チーム医療におけるコミュニケーションとコラボレーション能力		選択肢		1		2		3	
1. チーム医療における看護職としてのリーダーシップについて考えることができる。	人(%)	0	0.0	9	13.8	56	86.2		
2. 他職種とのコミュニケーションにより対象者を中心とした協働のあり方を考えることができる。	人(%)	0	0.0	5	7.7	60	92.3		
3. 対象者への医療サービスの継続性のための連携について考えることができる。	人(%)	0	0.0	8	12.3	57	87.7		
4. 安全なケアを組織的に提供することの意味について説明できる。	人(%)	0	0.0	11	16.9	54	83.1		
5. チーム医療において看護の役割と責任について考えることができる。	人(%)	0	0.0	2	3.1	63	96.9		
IV. ヘルスプロモーションと予防の実践能力		選択肢		1		2		3	
1. 対象者にヘルスプロモーション(健康の維持・増進と疾病予防に向けた活動)を実践できるよう指導できる。	人(%)	0	0.0	41	63.1	24	36.9		
2. 地域における健康課題の特性について説明できる。	人(%)	0	0.0	26	40.0	39	60.0		
V. 国際的視野と地域貢献能力		選択肢		1		2		3	
1. 文化的背景の異なる人々に対する看護を考えることができる。	人(%)	0	0.0	25	38.5	40	61.5		
2. 国際的な視野で健康課題を捉えることができる。	人(%)	0	0.0	35	53.8	30	46.2		
VI. 継続的に専門性を向上させる実践能力		選択肢		1		2		3	
1. 専門職を目指す学生である自己の課題を表現できる。	人(%)	0	0.0	6	9.2	59	90.8		
2. 専門性を向上させるための機会を自主的に活用できる。	人(%)	0	0.0	14	21.5	51	78.5		

選択肢

1. 出来ない 2. 支援があれば出来る 3. 出来る

項目別平均

I(1)	I(2)	I(3)	I(4)	I(5)
3.0	3.0	3.0	2.6	2.6
II(1)	II(2)	II(3)	II(4)	II(5)
2.7	2.6	2.6	2.8	2.7
III(1)	III(2)	III(3)	III(4)	III(5)
2.9	2.9	2.9	2.8	3.0
IV(1)	IV(2)	V(1)	V(2)	VI(1)
2.4	2.6	2.6	2.5	2.9
VI(2)				
2.8				

2023 年度看護実践能力修得度評価（集計ボード）

<https://x.gd/Qh0Qe>